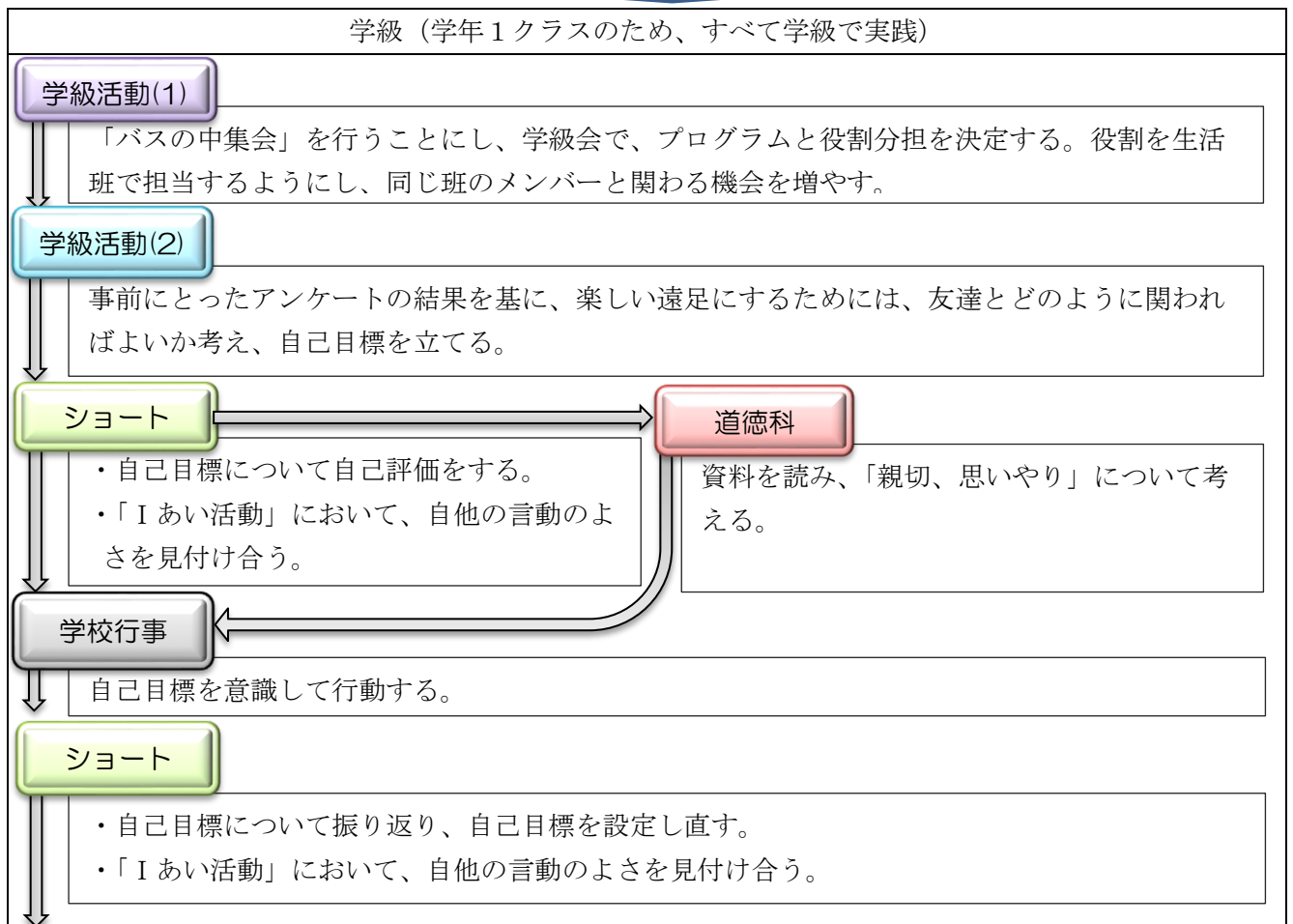
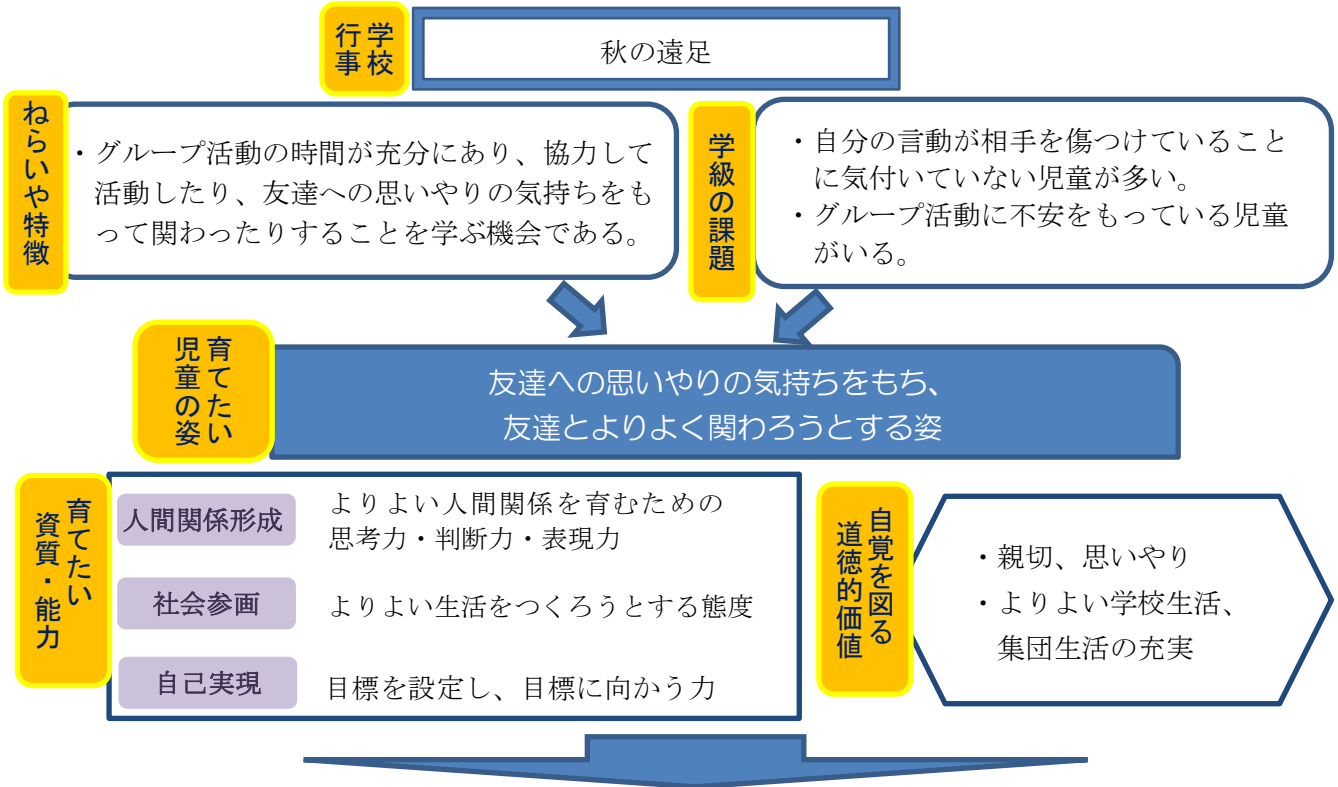


(5) 【実践事例Ⅱ】 第4学年「秋の遠足」前後の学習過程の工夫

ア 全体計画



## 道徳科

「I あい活動」の記述を基に、自他の日常の言動を振り返り、自分の成長を実感し、課題や目標に目を向け、よりよい言動を考える。

## イ 授業の実際

学級活動(2)



ショート

の実際

## 題材

「秋の遠足を楽しくする作戦」 ウ 望ましい人間関係の形成

## ねらい

日常生活での友達との関わり方を振り返り、よりよいコミュニケーションをとることで、友達との関係がよくなることに気づき、自分なりのめあてを考え、実践につなげることができる。

(集団の一員としての思考・判断・実践)

## 事前調査

遠足について、児童アンケート①を実施しました。(対象児童：35名)

遠足で楽しみなことについてのアンケート結果は、図1のとおりです。1番楽しみなこととして、「友達と遊ぶ」と20名、「友達と弁当を食べる」と7名が挙げており、友達と一緒に過ごすことを楽しみにしていることがわかります。

また、遠足で心配なことについては、23名が「同じグループの友達」と挙げており、その理由としては「自分勝手な人がいるから」「けんかをする楽しくないから」「仲間外れにされるかもしれないから」などの記述があり、友達との関係について不安や不満をもっている児童が多いことがわかりました。

そこで、児童の記述にあった不快感をもっている言動のリストをつくり、「されたことがあること、見たことがあること」に○をつける形式で、児童アンケート②をとりました。結果は図2の通りです。「悪口を言う」「文句を言う」「こそこそ言う」など好まれない関わりが多いという課題が明らかになりました。そのため、学級で見られる好まれない関わり方を「友達が『いやだ』と感じる行動リスト」としてまとめ、授業の中で知らせることにしました。

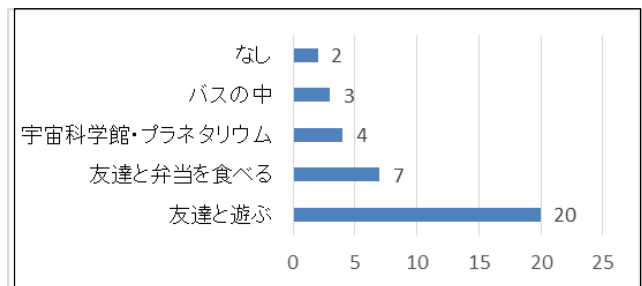


図1 遠足で楽しみなことについてのアンケート結果

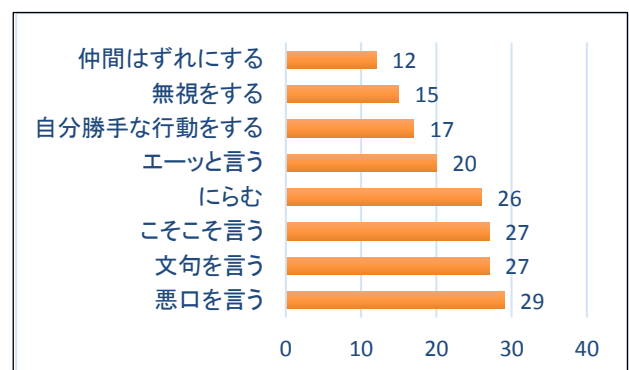


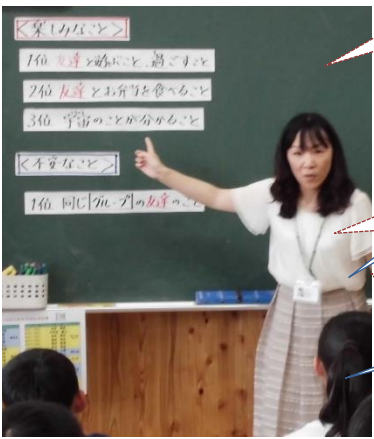
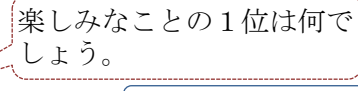
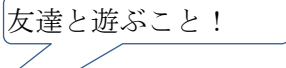
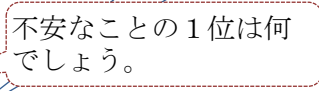
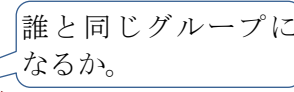
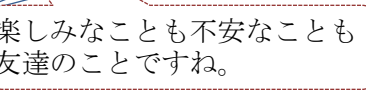

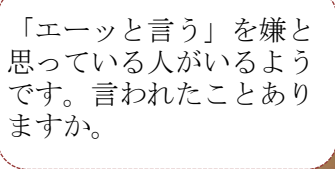
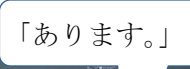
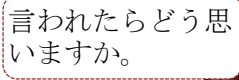
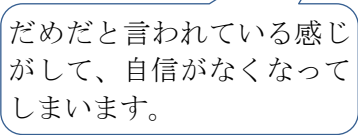
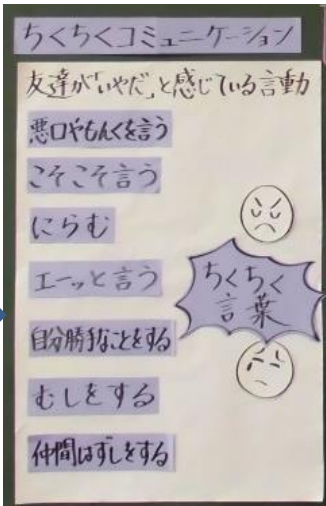


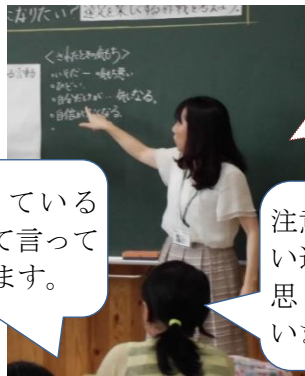
図2 されたこと、見たことがあることのアンケート結果

展開

過程	学習活動 ※  …児童の発言  …教師の発言	教師の働き掛け (○)
つかむ	<p>1 遠足アンケート（「楽しみなこと」・「不安なこと」）の結果について話し合う。</p>  <p> 楽しみなことの1位は何でしょう。</p> <p> 友達と遊ぶこと！</p> <p> 不安なことの1位は何でしょう。</p> <p> 誰と同じグループになるか。</p> <p> 楽しみなことも不安なことも友達のことですね。</p>	<p>○「楽しみなこと」「不安なこと」の回答が多かったものを、クイズ形式で予想させました。</p> <p>○「楽しみなこと」の1位、2位が「友達と遊ぶ」「友達とお弁当を食べる」、「不安なこと」の1位が「同じグループの友達」であるという事実から、友達との関係がよくなれば、遠足はとても楽しくなることに気付かせました。</p>
さぐる	<p>2 友達が「いやだ」と感じているのはどんな行動か、その行動をされるとどう感じるか考える。</p>  <p> 「エーッと言う」を嫌と思っている人がいます。言われたことがありますか。</p> <p> 「あります。」</p> <p> 言われたらどう思いますか。</p> <p> だめだと言われている感じがして、自信がなくなってしまう。</p> <div data-bbox="223 1668 654 2004" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>友達が『いやだ』と感じている行動リスト</p> <p><input type="text"/></p> <p><input type="text"/></p> <p><input type="text"/></p> <p>エーッと言う</p> <p>自分勝手なことをする</p> <p>むしをする</p> </div> 	<p>○事前アンケートを基に、「友達が『いやだ』と感じている行動リスト」を、空欄を入れて掲示し、空欄に入る行動を考えさせました。</p> <p>○「友達が『いやだ』と感じている行動」を「ちくちくコミュニケーション」とネーミングし、授業後に掲示できるようにまとめました。</p> <p>○「ちくちくコミュニケーション」の一つ一つをされたときの気持ちを発表させ、「ちくちくコミュニケーション」が友達の気持ちを傷付けていることに気付かせていきました。</p>

見付ける

3 「ちくちくコミュニケーション」がどうしてもなくならないか、このまま続くとどうなるか考える。



相手がつらい思いをしているのに、どうしてもなくならないのでしょうか。

友達が言っていると、つられて言っています。

注意しようと思っても、言い返されるかもしれないと思うと言えなくなっています。



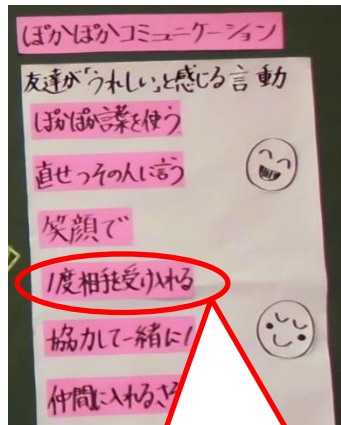
このまま続くと、どうなりますか。

仲がどんどん悪くなって、いじめが起きるかもしれません。

けんかがひどくなると思います。

4 友達との関わり方をよくするためには、どうすればよいか考える。

相手が言ったことに、すぐに「エーッ」って言ったり、文句を言ったりして関係が悪くなっているから、1回ちゃんと相手のことを受け入れてから、それから話すようにするといいと思います。



本学級の児童の多くに当てはまる課題と考え、遠足の前に計画されている道徳科の内容と関連させて取り扱うことにしました。

- T1 どこから行く？
- T2 2階からどがん？
- T1 よかよ。
- T2 みんな、いい？
- C いいよ。みんなで行こう。
- T2 みんなの行きたいところを順番に行こうね。



○「ちくちくコミュニケーション」は友達を嫌な気持ちにさせていることを確認した上で、それでもなくならないのはなぜかを尋ね、周囲の友達の目を気にしたり意識が足りなかったりする自分自身の関わり方について考えさせました。

○このまま続くと人間関係が悪くなることを感じ取らせ、変わらなくてはならないという内発動機付けとしました。

○「ちくちくコミュニケーション」の反対の行動を考えることをヒントとして、考えさせていきました。

○「ぼかぼかコミュニケーション」を授業後に掲示できるようにまとめました。

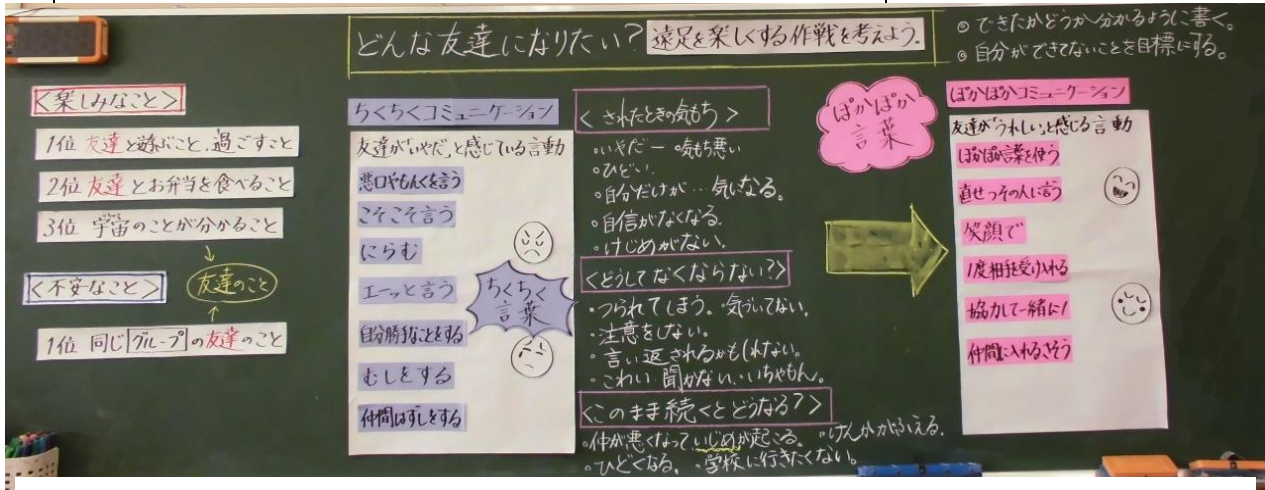
○会話を交わす度に、取りやすいところにボールを投げ合うことで、「ぼかぼかコミュニケーション」の様子を可視化し、イメージをもたせました。コミュニケーションには相手があり、相手の気持ちを考える必要があることを強調しました。

5 自己目標を立てる。



悪口やもんくを言わないで、ぼかぼか言葉を1日に10回言おう。

○遠足までの期間も上達期間として取り組むことを伝え、「できたかどうか分かる目標」「できていないことで、できそうな目標」というポイントを示し目標を決めさせました。

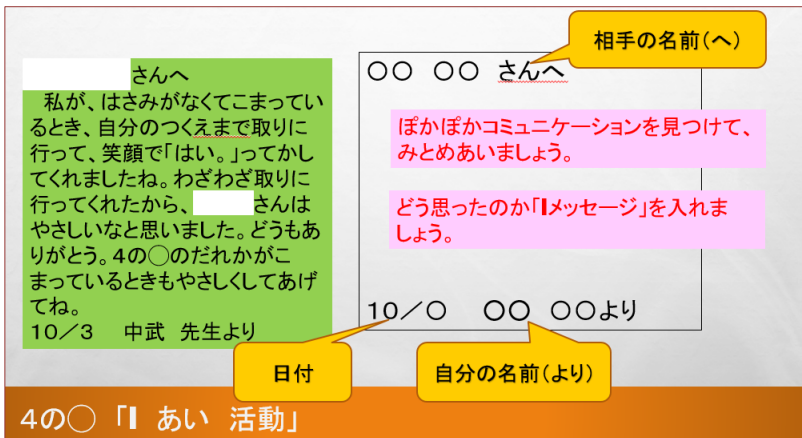


学級活動(2)「秋の遠足を楽しむ作戦」の板書

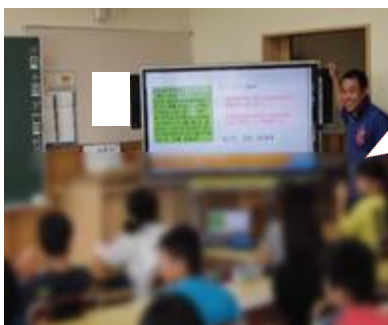
実行する

「I あい活動」の説明 [ショート：帰りの会]

○「I あい活動」の説明を聞く。



「Iメッセージカード」の書き方の説明プレゼンスライド



同じ班の友達3名の「ぼかぼかコミュニケーション」を見付けましよう。「バスの中集会」の準備をするときや授業中の話合いなど、いろんな場で見付けられそうですね。

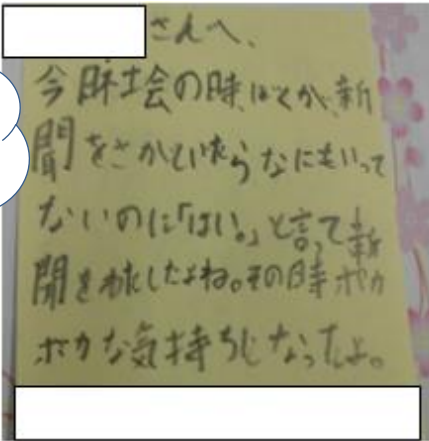
○見つけた「ぼかぼかコミュニケーション」と自分の気持ちを「Iメッセージ」として付箋(「Iメッセージカード」)に書くようにさせました。

○イメージをもたせるために、「Iメッセージカード」の例を示しました。

○遠足のグループを生活班で組むこととし、生活の中で互いの「ぼかぼかコミュニケーション」を見付け合い、認め合えるようにしました。「Iメッセージカード」は書き溜めて、遠足の次の日に交換するようにしました。

- 「Iメッセージカード」を書く。  
(遠足までの期間1週間)

「ナイスシュー」  
って言われてうれ  
しかったな。



児童が書いた「Iメッセージカード」

- 「Iメッセージカード」を書く時間に、担任と級外担当の2名で机間巡視を行い、書き方が分からずにいる児童を支援しました。
- 同じグループの友達に順番に書くというルールを作り、班のメンバー全員に目が向くようにしました。

道徳科

の実際

主題名

相手の気持ちを受け入れる【内容項目B-(7)親切、思いやり】

教材名

「温かい言葉」(出典 学研)

ねらい

親切な行為を断られても、腹を立てずに謝り励ますお兄さんの姿を見た主人公の気持ちを捉え、相手の状況や気持ちを受け入れ思いやりのある言葉を返すことの大切さに気付くことができる。

展開

段階	学習活動 主な手立て(◆)	教師の説明や発問(○) 児童の発言(・)
導入	<p>1 「相手を受け入れる」とはどうすることか考える。</p> <p>◆掲示している「ぼかぼかコミュニケーション」を示し、「ぼかぼかコミュニケーション」の1つとして、「相手を受け入れる」を決めたときのことを想起させました。</p>	<p>教師の説明や発問(○) 児童の発言(・)</p> <p>□ …教材ととらえる児童の発言</p> <p>□ …研究の視点と関わる教師の発問</p> <p>「相手を受け入れる」とはどうすることでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いいよ」と聞くこと。</li> <li>・最後まで聞くこと。</li> <li>・知らんぷりせずに相手の方を向くこと。</li> <li>・文句を言わないこと。</li> <li>・「うん」って言いながら聞くこと。</li> </ul>
	<p>「相手を受け入れる」ぼかぼかコミュニケーションについて考えよう</p>	
	<p>2 「温かい言葉」を読み、話し合う。</p> <p>◆『ぼく』の男の子に対する気持ちを考えさせ、気になるが行動できずにいる『ぼく』の気持ちに同化させようとなりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○汗をかきながら階段を上る男の子を見て、『ぼく』はどのように思ったでしょう。</li> <li>・助けてあげたいな。</li> <li>・声を掛けたいけど、勇気がないな。</li> <li>○「通り過ぎていく人たちを見て、『ぼく』はどう思っ</li> </ul>

◆『ぼく』の目を通して、通行人の「ちくちく」の状態を明らかにし、その状態はよくないことを意識できるようにしました。

◆お兄さんの言葉、『ぼく』の気持ちを考えさせることで、『ぼく』がお兄さんに好感をもっていることを押さえました。



◆『ぼく』の気持ちを考えさせることで、男の子の言葉に『ぼく』が納得できずにいることを押さえました。

#### 【書く活動①】

◆お兄さんの言葉、『ぼく』の気持ちを考えさせることで、お兄さんの言葉にある温かさに気付かせました。

◆お兄さんが、男の子の気持ちを思いやって、謝っていることに気付くように、児童の発言内容を聞いて、考えを深める発問を重ねていきました。

◆男の子の気持ちを受け入れて「ごめんね」と声をかけているお兄さんの姿から、「相手を受け入れる」ということを考えさせました。

たでしょう。

- ・周りの人は、知らんふりして冷たいな。
  - ・何かしてあげたいと思わないのかな。
- お兄さんはなんと声を掛けたでしょう。
- ・大丈夫？ ・きつくはない？
  - ・一緒に上ろう。 ・上るのを手伝おうか。
- お兄さんの言葉を聞いて、『ぼく』はどう思ったでしょう。

- ・お兄さんが声を掛けてくれてよかったな。
- ・お兄さんは優しい人だな。
- ・知らんふりしていた他の人とちがうな。
- ・温かい人間の目をもってるな。
- ・ぼくは、なんで助けられなかったんだろう。

○男の子はなんて返事をしただろう。

- ・ありがとう。
- 男の子の言葉を聞いて、『ぼく』はなんて思っただろう。
- ・えっ、そんなことを言ったら傷つくよ。
  - ・ひどいよ。
  - ・せっかく声をかけてくれたのに。

○お兄さんの言葉を聞いて、『ぼく』はどう思ったでしょう。

- ・なんで謝るの？
- みんななら、どう思いますか。
- ・迷惑かけたのかな。・強く言うなんて失礼だな。

○お兄さんをどう思いますか。

- ・優しい。・とっても優しい人。

では、優しいお兄さんは、男の子にどう思っているのでしょうか。

- ・頑張ってるね、一人でえらいね。
- ・本当に大丈夫かな。
- ・無茶しないで。
- ・早く治るといいね。

お兄さんは、男の子のどんな気持ちに気付いたのでしょうか。

- ・一人で頑張りたい気持ち。
- ・歩く練習を頑張りたい気持ち。

「相手を受け入れる」とはどうすることでしょうか。

- ・お兄さんみたいに優しくすること。
- ・文句を言わずに相手のことを考えること。
- ・ごめんねって言えること。

3 「ぼかぼかコミュニケーション『相手を受け入れる』」について考える。

【書く活動②】

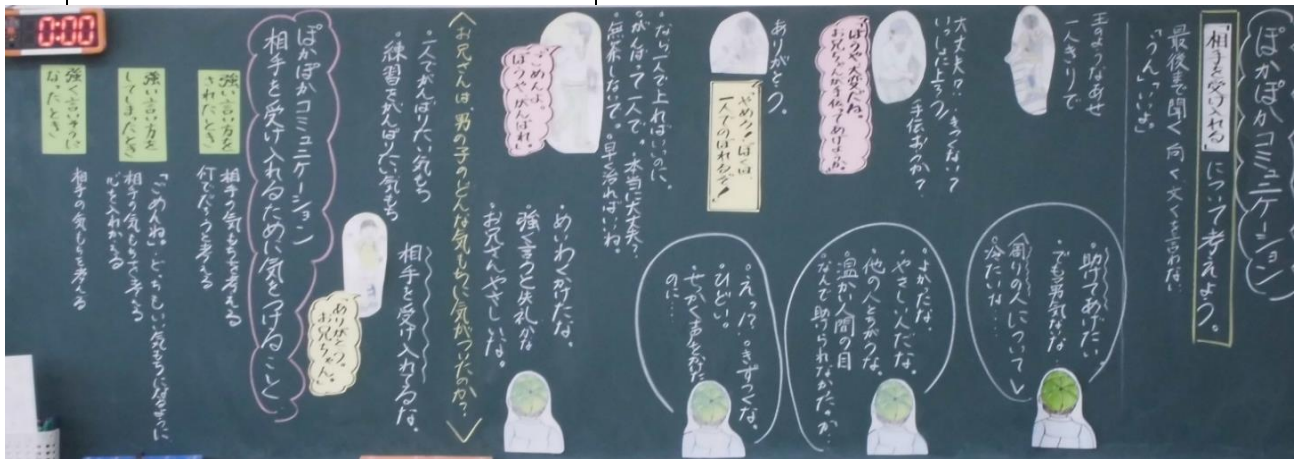
◆本時の板書を振り返りながら、「強い言い方をされたとき(お兄さんの立場)」「強い言い方をしてしまったとき(男の子の立場)」「強く言いそうになったとき」という視点を与えました。

4 「やわらかなまっすぐ」の範読を聞く。

◆「やわらかなまっすぐ」の詞に込められた願いを感じさせ、今後の実践意欲につなげようとしてしました。

「相手を受け入れる」ことをできるようにするために、気を付けたいことはどんなことですか。

- ・強い言い方をしてしまったら、「ごめんね」と言うようにしたいです。
  - ・強い言い方をされたときに、何でそんな風に言ったのかを考えます。
  - ・強い言い方をしてしまったときは、心を入れ替えて言わないようにしたいです。
  - ・相手の気持ちを考えて、優しい言葉を使うようにしたいです。…他3名発言…
- 藤川幸之助さんの「やわらかなまっすぐ」を聞いてください。



道徳科「相手の気持ちを受け入れる」の板書

シヨート






学級活動(2) の実際

題材

「I あい活動 パート2へ」

ねらい

遠足までの「ぼかぼかコミュニケーション」を振り返り、よかったところを認め合い、次の目標を決めることができる。

<p>学習活動</p> <p>※  …児童の発言  …教師の発言</p>	<p>教師の働き掛け</p>
<p>1 グループで「I メッセージカード」を紹介し合う。</p> <p></p> <p>遠足ではぐれたとき、探してくれてありがとう。とっても良かったです。</p>	<p>○よく気付いている児童の「I メッセージカード」を紹介し、友達を認めることができていることを、児童とともに称賛する。</p>



2 遠足までの自己目標を振り返り、次の目標を自己決定する。



みんなが頑張ろうとしているのでうれしいです。先生も応援しています。4の〇みんなで作った「ぼかぼかコミュニケーション」を見て、「できていないことで、できそうな目標」を決めようね。

ぼかぼかコミュニケーションをふやそう

ちくちくコミュニケーションをなくそう

の目標

1 悪口や文句をぜたいに言わない。

2 あたたかい言葉をやさしく返す。

3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
◎	◎	休み	◎	◎
11日(火)	12日(水)	13日(木)	バスの中集会でみんなが協力できてきた。後みんな笑顔だった。	
◎	◎	◎		
18日(火)	19日(水)	20日(木)	21日(金)	24日(月)
△	◎	◎	◎	◎
<p>ぼかぼかコミュニケーションをふやそう</p> <p>あたたかい言葉をやさしく返す</p> <p>ぼかぼかコミュニケーションをふやそう</p> <p>あたたかい言葉をやさしく返す</p> <p>ぼかぼかコミュニケーションをふやそう</p> <p>あたたかい言葉をやさしく返す</p>				

「ぼかぼかコミュニケーション」目標カード

3 「I あい活動パート2」の説明を聞く。

「I あい活動パート2の進め方」

- ①自分の振り返りをする。(◎ ○ △→コメント)
  - ②クラスの友達に「I メッセージカード」を書いて渡す。
  - ③学級目標「りいだあ」にシールを貼る。
- ※「I メッセージカード」をもらった人は「ありがとうカード」を書く。

○1週目を振り返らせ、目標を達成できた児童は次の目標を立てるように、達成できなかった児童は目標を再考するように伝えました。

○児童の道徳科ワークシートの記述をプレゼンスライドで示し、学級の中に前向きに取り組もうとしている児童が多いことを称賛し、児童の意欲を喚起しました。

「相手の気持ちを受け入れる」って？

相手の気持ちを受け入れること

相手の気持ちを分かるようにする  
相手の気持ちに合ったことばを言ってあげる  
自分がきずつくことを言われても、相手のことを考えてやさしく言う。  
自分が言いたいことがあっても言わない。心の中で言う。  
自分の心の中で思うと、みんなはきずつかない。  
あたたかい言葉をやさしく返す。  
強く言ってしまったときは、反省してあやまる。  
あやまる。あやまるとみんながほっとする。  
強く言いそうになったときは、がまんしてやさしい言葉を言う。

4の〇ってすごい！  
4の〇道徳より  
すてきがたくさん！

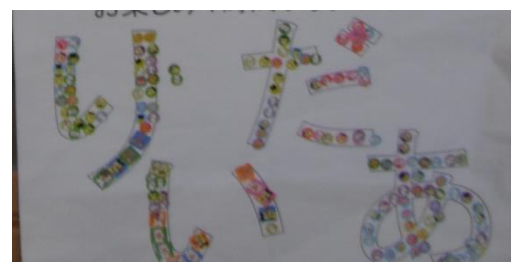
児童に示したプレゼンスライド

○よく書いている児童の「Iメッセージカード」(黄色)、ありがとうカード(水色)を紹介しました。また、級外担当からクラスへの「Iメッセージカード」を掲示し、承認の場としました(ピンク)。



「Iメッセージカード」紹介の掲示

○「Iメッセージカード」を渡したら学級目標にシールを貼る活動を取り入れ、児童の意欲を喚起しました。



シールで埋めた学級目標「りいだあ」

## 道徳科

## の実際

## 主題名

大切にしたい「ぼかぼかコミュニケーション」【内容項目C-(16)よりよい学校生活、集団生活の充実】

## 教材名

遠足前後の「Iメッセージカード」

## ねらい

自分の言動が、自他の学校生活を楽しくする要因の一つであることに気付き、友達の気持ちを考え、よりよい関わり合いをしようとする気持ちをもつことができる。

## 展開

段階	学習活動 主な手立て(◆)	教師の説明や発問(○) 児童の発言(・)
導入	<p>1 学級活動(2)や道徳科の授業を振り返り、「ぼかぼかコミュニケーション」を想起する。</p> <p>◆学級活動(2)で取り組んだ個人目標を達成した児童の振り返りを電子黒板で見せ、「ぼかぼかコミュニケーション」のよさを感じさせました。</p> <p>◆「ぼかぼかコミュニケーション」が増えることによるよい変化を想像させ、「ぼかぼかコミュニケーション」を増やしたいという気持ちを喚起しました。</p>	<p>教師の説明や発問(○) 児童の発言(・)</p> <p>…教材と捉える児童の発言や記述</p> <p>…研究の視点と関わる教師の発言</p> <p>自己目標を達成した日に書いた友達のコメントを紹介し、この3人の友達のコメントに、目標達成のヒントがあります。どんなことでしょうか。</p> <p>・やさしい言葉を言ったら笑顔を返してくれたから、増やしたい。 ・相手にあやまったらにこっと笑ってくれて、こっちもぼかぼかになりました。 ・相手の気持ちに合った言葉を言うと、けんかの数もへることが分かりました。</p> <p>・優しい言葉を使う ・あやまるとけんかが減る ・相手の気持ちに合った言葉を使う</p> <p>「ぼかぼかコミュニケーション」が増えると、どうなりますか。 ・みんなが楽しくなる。 ・クラスが楽しくなる。 ・ぼかぼかが増える。 ・自分も友達も楽しくなる。</p>
展開	<p>2 「Iメッセージカード」を読んで話し合う。</p> <p>◆増やしたい「ぼかぼかコミュニケーション」について書かれている「Iメッセージカード」を選んで、ワークシートにまとめました。</p>	<p>自分も友達もクラスもぼかぼかになるように、4の○「ぼかコミュポイント」をつくろう</p> <p>9枚の「Iメッセージカード」があります。好きなものを選んで、その理由と「I1メッセージカード」に隠れている「ぼかぼかコミュニケーション」を見つけてください。みんなが見つけてくれたものを「4の○ぼかコミュポイント」としてまとめたいと思いますが、どうですか。</p> <p>・いいと思います。</p>

◆①の「Iメッセージカード」を例に挙げ、「選んだカードを読むとどんな気持ちになるのか」を伝え、「ぼかコミュポイント」を考えさせました。

(1) 一人でタイム

◆個人で「Iメッセージカード」を読ませ、「選んだ理由」と「ぼかコミュポイント」を記録する時間を取りました。そのとき、次の順番で進めるように指示を出しました。

【書く活動1】

- ①全部の「Iメッセージ」を読んで、いいなと思った「Iメッセージ」の番号に○を付け、「心に残ったのは」の欄に番号を書く。
- ②そのカードを選んだ理由と選んだカードを読むとどんな気持ちになるかを「心に残ったのは」のところに文で書く。
- ③「ぼかコミュポイント」をさがして、メッセージの下の吹き出しに書き込む。
- ④選んだカード以外について、「ぼかコミュポイント」を見付ける。

◆活動が滞っている児童と一緒に「Iメッセージ」を読み、それが好きか、それはどうしてかを聞き取り、記録させました。

(2) ペアタイム

◆全員に自分がいいなと思った「Iメッセージ」を伝える機会を与えると同時に、隣の友達の「Iメッセージ」についての考えを聞く機会としました。

(3) みんなでタイム

◆選んだ「Iメッセージ」とその理由を発表させ、「Iメッセージ」の文章にある「友達への思いやり」や「日常の学級生活を

先生が選んだのは1番です。泣いているときって余裕がなくなるのに、この友達は、ちゃんとお礼を言って、次は自分が助けると言っていて、優しいと思ったからです。「ぼかコミュポイント」になりそうなものはありますか。

- ・なぐさめる
- ・「ありがとう」の気持ちを伝える
- ・恩返しをする

①ぼくが泣いているときに、なぐさめてくれてありがとう。今度は、ぼくが助けるね。

①全部の「Iメッセージ」を読んで、いいなと思った「Iメッセージ」の番号に○を付け、「心に残ったのは」の欄に番号を書く。

②そのカードを選んだ理由と選んだカードを読むとどんな気持ちになるかを「心に残ったのは」のところに文で書く。

③「ぼかコミュポイント」をさがして、メッセージの下の吹き出しに書き込む。

④選んだカード以外について、「ぼかコミュポイント」を見付ける。

児童に配布したワークシート

...ペアタイム...

- 選んだ「Iメッセージ」とその理由を教えてください。
- ・③番を選びました。相手の気持ちを考えて、優しく注意しているのがいいと思ったからです。

③私がしゃべっているときに、「しゃべっちゃだめだよ」とやさしく言ってくれたことがうれしかったよ。

よりよくしようとする思い」などの道徳的価値に気付かせていきました。

- ◆相手のことを考えての言動を児童の言葉で「ぽかコミュポイント」としてまとめることで、今後の学校生活での意識化を図りました。
- ◆児童が発表した「ぽかコミュポイント」を短冊に記録しました。

「ぽかコミュポイント」は？

- ・相手の気持ちを考える
- ・優しく注意する

言われた人の気持ちを考えて、優しく注意するといいいだね。そしたら、みんな注意を聞くんだね。

- ・聞かない人もいる。
- ・「注意を受け入れる」も「ぽかコミュポイント」にしていきたいと思います。
- ・注意されてうれしいってすごい。

なるほど。「優しく注意する」と「注意を受け入れる」がみんなできるようになると、ぽかぽかが増えそうですね。

- ・6番がいいと思います。苦手なものを食べてるときとかに応援してもらったらうれしいからです。

「ぽかコミュポイント」は？

- ・応援する
- ・がんばれって言う

⑥給食の時間に、私が食べているとき、「がんばれ」と言ってくれてありがとうございます。心が温かくなりました。

- ・⑧番がいいと思います。けんかした相手にありがとうと言っているからです。

- ・ぼくも⑧番がいいと思います。自分からも謝っているし、またなかよくしようと言っているのがいいと思うからです。

⑧今日、ぼくとけんかしたとき、自分から来てくれてありがとう。よけい、あやまりやすくなったよ。ぼくからも「ごめんなさい。」またなかよくしようね。

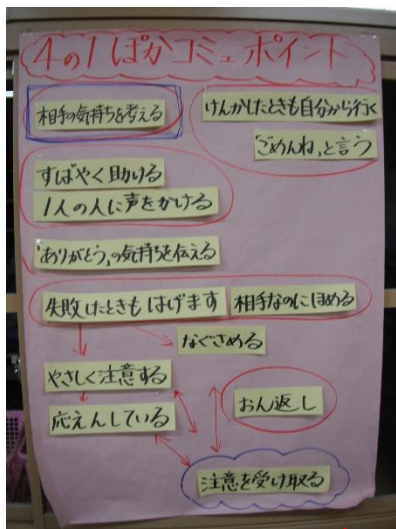
ありがとうと言ったのはなぜですか。

- ・自分から来てくれたから。
- ・けんかしたときに自分から行くのは勇気があるのに、自分から行ったから。

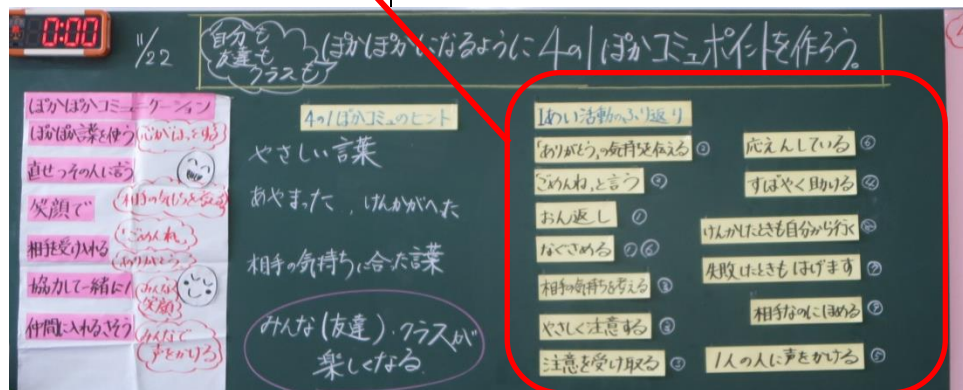
「ぽかコミュポイント」は？

- ・けんかしたときも自分から行く

…他5つの「Iメッセージ」について話し合っ



- ◆掲示用にまとめました。



「学習活動(2)『Iメッセージカード』を読んで話し合う」までの板書

- 3 自分への「Iメッセージ」を書く。【書く活動2】
- ◆自分を認め、応援するメッセージを書くことで、自分のよさを実感させようとした。
- 4 学級に関わりの深い先生方からの「Iメッセージ」を読む。
- ◆3名の先生からのメッセージを読み、先生たちからも応援されていることを感じることで、今後の生活への意欲を高めようとした。

- 自分への「Iメッセージ」を書きましょう。
- ・人が泣いているところを見たらなぐさめて、ありがとうの気持ちは手紙ではなく、ことばで言いたいです。そして、おん返しをしたいと思います。人から注意されたらごめんねと言うと、私は決めました。
- 先生方から「Iメッセージ」が届いています。電子黒板で映しますね。

給食台が片づけられていないのを見て、進んで台ふきをしてくれている人がいました。みんなのために進んで行動できるってすごいですね。  
そして、そのことをじまんしないのもすばらしいです。

〇〇先生より

「Iメッセージ」紹介プレゼンスライド

## ウ 授業を終えて

- 学級活動(2)において、「秋の遠足を楽しみたい」という児童の共通の願いを前面に出した上で、「友達との関わり方に不満がある」という学級の課題を明らかにし、課題を解決するための話し合いを通して個人目標を立てたことは、児童の目標達成の意欲の喚起、継続につながりました。また、話し合って決めた学級の好ましい友達との関わり方を「ぼかぼかコミュニケーション」とネーミングしたことで、学習過程全体を通して、児童が共通認識の下、声を掛け合うことができました。
- 遠足前の1週間を「ぼかぼかコミュニケーション」の上達期間、遠足後の1週間を生活への定着期間と捉え、毎日、自己目標の振り返りをしたり自他の言動のよさを見付け合わせたりしたことは、よりよい友達との関わり方を継続して意識させることに有効でした。
- 「秋の遠足」の前日に、内容項目B-(7)「親切・思いやり」の道徳科において、本学級の課題を意識した授業を展開したことで、友達との関わりの中で必要な思いやりの気持ちについて考えるための布石と

# 2分の1成人式おめでとう

4年〇組 さん

## ぼかぼかコミュニケーション

「心がほっとしたよ」「私からもありがとう」「みんな笑顔になった」

◇◇さんへ 5さんは、友達にやさしくおもしろいことをやっているね。それに笑顔だから、◇◇ちゃんも笑顔でみんなも笑顔になるよ。 〇〇より	◇◇くんへ サッカーでぼくがシュートしたときに、相手チームだったのに、「ナイシュー」と言ってくれてありがとう。心がほっとしました。 〇〇より	◇◇さんへ 給食の時間に、私が食べているとき、「がんばれ」と言ってくれてありがとうごさいます。心が温かくなりました。 〇〇より	◇◇さんへ 今日、ぼくとけんかしたとき、自分から来てくれてありがとう。よけいあやまりやすくなつたよ。ぼくからも、「ごめんなさい」 〇〇より
◇◇ちゃんへ いつもやさしく言ってくれてありがとう。◇◇ちゃんのおかげで、いつも学校が楽しいよ。 〇〇より	◇◇ちゃんへ 算数のときいつも、ドリルやぐんぐんを覚えてくれてありがとう。また、こまったら教えてね。 〇〇より	◇◇くんへ 毎日、笑顔で話しかけてくれてありがとう。いつも、声を掛けてくれて、遊びにさそってくれてありがとう。 〇〇より	◇◇ちゃんへ 今日、いっしょに遊ぼうと言ったことがうれしかったよ。 〇〇より
◇◇くんへ 私が算数の授業で分からなかったら、笑顔で教えてくれたね。そのときは本当にうれしかったよ。私も笑顔になりました。 〇〇より	◇◇くんへ なぞなぞのときに、分からなかったら、いっしょに考えてくれてありがとう。私は、◇◇くんはやさしいなと思いました。 〇〇より	◇◇くんへ 昨日の帰り、サッカーでいっしょに帰れませんでした。そのとき、「ごめんね」と言ってくれてありがとう。心がぼかぼかになりました。本当にありがとう。 〇〇より	◇◇くんへ いつも、やさしくしたり、笑顔で話しかけてくれてありがとう。◇◇くんは、えがおのままいてね。 〇〇より
◇◇さんへ ぼくが少ししょんぼりしているとき、やさしい言葉で「大丈夫？」と書いてくれたね。ありがとう。ぼくもみんなをまとめていきたいです。説明を考えるのがむずかしかったけど、◇◇さんが助けてくれたのでよかったです。 〇〇より	◇◇さんへ スピーチタイムのグループタイムでみんなをまとめていたね。ぼくもみんなをまとめていきたいです。説明を考えるのがむずかしかったけど、◇◇さんが助けてくれたのでよかったです。 〇〇より	◇◇くんへ いつも明るく声をかけてくれてありがとう。楽しくすごせるよ。もっと明るいうらなすしようね。 〇〇より	◇◇ちゃんへ 遠足ではくれたとき、さがしてくれてありがとう。とてもありがたく思いました。◇◇ちゃんも、とてもやさしかったです。 〇〇より

4の〇「ぼかコミュ」Iメッセージ！  
 わたせる人ももらえる人もすてきなね。  
 4の〇のすてきな「ぼかコミュ」は、4の〇の宝！  
 この気持ちを大切にしながら、みんなで成長していこうね。

図3 「2分の1成人式」の記念品の封筒の表紙

なりました。

- 「秋の遠足」の前後で「Iあい活動」の方法を変えたため、グループの友達からクラスの友達と、言動のよさを見つける視野が広がり、様々な点でのよさを見付けることになりました。
- 道徳科の授業で、一連の学習過程を振り返り、好ましい関わり方を行う際の気持ちを考えることで、自己の成長に気付かせたり学級の高まりに目を向けさせたりすることができました。
- 授業後も、生活の中で「それは、ぽかぽかコミュニケーションではないよ」と注意したり「ぽかコミュポイントを使おう」と呼び掛けたりする児童の姿が見られました。図3は、「2分の1成人式」の記念品を入れる封筒の表紙に貼ったものです。「Iメッセージカード」を渡した人、もらった人、それぞれを認めながら、「ぽかぽかコミュニケーション」を学級内に浸透させていきました。

エ 資料

ぽかぽかコミュニケーション  
をふやそう

ちくちくコミュニケーション  
をなくそう



自分の名前を記入させました。

## の目標

---

1 「秋の遠足」前の「学級活動(2)」で自己決定した目標を記入させました。

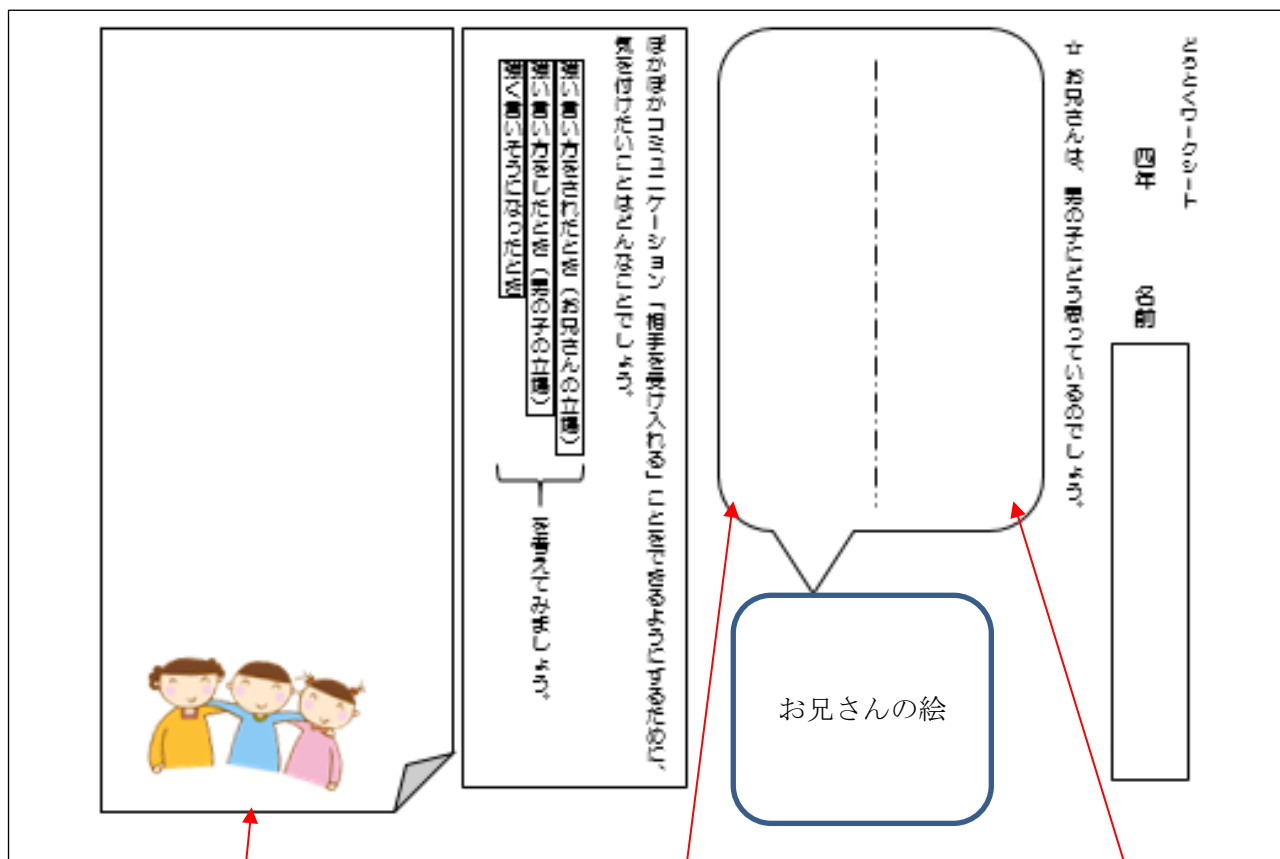
---

2 「秋の遠足」後に、「秋の遠足」までを振り返らせ、次の目標を記入させました。

3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
◎ ○ △で自己評価させました。				

11日(火)	12日(水)	13日(木) 遠足	振り返りの記述をさせました。
◎ ○ △で自己評価させました。			

18日(火)	19日(水)	20日(木)	21日(金)	24日(月)
◎ ○ △で自己評価させました。				
振り返りの記述をさせました。				



「強い言い方をされたとき」「強い言い方をしたとき」「強く言いそうになったとき」という三つの場面を想定し、考えやすいところから記述するようにさせました。

お兄さんは男の子のどんな気持ちに気付いたのかを尋ねる補助質問を行い、記述させました。

お兄さんは男の子をどう思っているのかを考えて記述させました。